

研究課題名	電氣的インピーダンス・トモグラフィーと連続呼吸音モニタリングを用いた抜管後の再挿管の予測
研究責任者名	広島大学病院高度救命救急センター 特命助教 内海 秀
研究期間	2023年1月6日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2023年1月(許可日)から2024年3月の間に、広島大学病院救急集中治療科で人工呼吸器による治療を受けられた患者さん
意義・目的	人工呼吸管理を要する重症患者において、抜管の失敗は生存率の低下や医療費の増大につながるため、回避すべき課題です。これまでのところ、抜管失敗のリスクを評価する方法に関しては、さまざまな方法が存在するものの、予測精度は十分ではありません。本研究は電氣的インピーダンス・トモグラフィー(EIT)や連続呼吸音モニタリングによる抜管前後の呼吸状態の評価を行うことを目的としています。これらにより抜管後の再挿管の予測が可能となれば、臨床の場において再挿管の回避やICU滞在日数延長、生存率などの不良転帰の改善、医療費削減が期待できます。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査や画像検査です。 また、人工呼吸器管理中の呼吸器設定や抜管前後の EIT および連続呼吸音に関しても情報収集を行います。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学病院高度救命救急センター 特命助教 内海 秀
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報を結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5456 広島大学病院救急集中治療医学 特命助教 内海 秀